第６回秋田市マイタウン・バス北部線運行協議会議事録

開催の日時　平成２２年８月１８日（水）午後６時から午後８時まで

開催の場所　北部公民館

委員の定数　１６名

出 席 委 員　１３名（うち代理出席１名）

議　　　題　(1) 前回要望のタク停の新設について
　　　　　　(2) 飯島北回転地の使用について
　　　　　　(3) 定時定路に向けた運行時刻（案）の作成について

事　務　局	開会の言葉 委員紹介 会長の選出 会長が推薦され委員の賛成を得る。進行について事務局と打合せをする。
会　　　長	挨拶 会長職務代理者を指名する。
事　務　局	次第の５、これまでの経緯について説明する。
会　　　長	次第の６、議事に入る。 「(1)前回要望のタク停の新設について」を説明願う。
事　務　局	下新城コース沿線の福田町内会から要望があり、“福田町内”という名前で停留所を設置した。
会　　　長	「(2)飯島北回転地の使用について」を説明願う。
事　務　局	飯島北回転地の使用について関係各位から了解を得た。飯島北回転地の使用を開始するにあたってはダイヤの改正を伴う。よって、この件に関して、次の議事「(3)定時定路に向けた運行時刻(案)」と合わせて説明させていただく。
委　　　員	飯島北回転地の使用で利用料を払うとなったとあるが、今後、利用料を改定する可能性はあるか。
事　務　局	そのとおりである。
会　　　長	サロンオアシスの閉鎖で、飯島二区を乗継ぎ地点として使用できなくなったため、飯島北を乗継ぎ地点にできないかということを検討してきた。また、これまで予約が面倒であるという声が多数あり、定時定路便でダイヤを組めないかということも言われてきた。この２つを合わせて、「(3)定時定路に向けた運行時刻(案)」を説明願う。
事　務　局	前回の協議会で要望があり、シミュレーションしたところ、定時定路は予約式よりも、多くの時間を必要とするため、便数が大きく減ることになる。そこで、便数を極力維持しながら、利用者が多い時間帯について定時定路便を設けられないか検討し、飯島北

を乗継ぎ地点として運行時刻表の案を作成した。

会　　長　外出先から帰るときに予約が面倒であるということが言われてきた。帰る予定がはっきりしている時は良いが、慶弔の時などは終わる時間が決まっているわけではないから、予約の仕様がない。よって、定時定路便があると大変助かるものである。しかし、走行距離が伸びれば当然時間がかかり、便数が減る。この不自由を我慢しなければならない。もうひとつはこの時間帯でいいのかということ。出勤に使いたいという人、帰宅に使いたいという人、様々だと思う。この辺について、皆さんで活発に議論していただきたい。

委　　員　今まで、本数が多くて便利だったところ、この運行時刻表(案)をみると、２時間もバスがない時間帯がある。金足コースは影響が少ないが、下新城コース、上新城コースは便数の減少が大きいので、定時定路便を設けることは反対する。

委　　員　そもそも、この定時定路便を設ける話が出たのは、北部線が組合病院と土崎駅を経由して秋田駅まで行っても利用者数が伸びなかったことから始まったのだ。乗継ぎ地点が飯島北回転地に変更になり、定時定路便と予約式が混在するやり方では利用者の混乱が予想されるので、難しいと思う。

会　　長　予約式を混在させずに、全便定時定路で運行することについてはどうか。

委　　員　１便あたりの時間がかかり過ぎる。

委　　員　経路を枝状にして便利にしたのは、予約式で乗客がいる区間だけを運行したらよいということだったからである。これを全経路について運行するとなると効率が非常に悪くなる。定時定路については要望しない。

委　　員　上新城コースだが、今は組合病院までしか行かず、乗換えが必要なことが非常に不便である。定時定路については予約なしで利用できるのは便利であるが、組合病院を経由して飯田街道を通り、土崎駅まで運行してもらいたい。路線バスの神田線と乗継ぎになっているが、地元の人間は昔から飯田街道を通り、土崎駅方面へ通院、買物をしている。今現在の運行が大変ありがたいが、土崎駅まで延伸してもらわないと困るという意見が大半である。

事 務 局　路線の延伸については、ご要望を多々いただいており、我々も鋭意交渉しているが、延伸については地域公共交通協議会において、バス事業者との競合が指摘され、国への申請の際にも同様のことが予想される。延伸し、バス事業者と競合しながら運行できたとしても、赤字が大きくなり、財政を圧迫することが懸念される。

委　　員　市が責任が持って取組むべきだ。

委　　員　秋田市マイタウン･バスは北部線のほかにも東部線、西部線、南部線を運行しているが、やはり要望の多くが路線延伸に関するものである。それを受けて秋田市マイタウン･バス全体として、バス事業者と調整している。加えて、バス事業者において土崎駅付近で環状線の運行を検討中である。この環状線を上手く活用することで、不便さが解消される可能性がある。

委　　員　学生はクラブ活動で帰りが遅くなるときがある。バス事業者の便は遅い時間帯にないので、別のバスの導入を検討したが、バス事

	業者との競合を避けた結果、非常に遠回りする経路の設定をせざるを得なかったという事例がある。
委　　員	我々北部地区に住む人間は、バス事業者が撤退した結果、大きな不便を強いられたのだから、これ以上、バス事業者の顔色を伺ってほしくない。事務局は強い態度で臨んでほしい。
事 務 局	この議事(3)について、運行は予約式のままとするが、乗継ぎ地点についてはどうか。
委　　員	乗継ぎ地点を変えても便数はこのまま維持できるのか。
事 務 局	減便にならないという保証はできない。
委　　員	飯島北回転地だと、路線バスと乗継ぎする者は良いが、ＪＲと乗継ぎする者は上飯島駅までかなりの距離を歩くことになってしまうので、現在のまま、飯島二区を乗継ぎ地点とすることを希望する。
会　　長	このことについては次回の協議会で各自、案を持ち寄って再度協議したいと思う。他にないならこれで議事を終了する。

以上